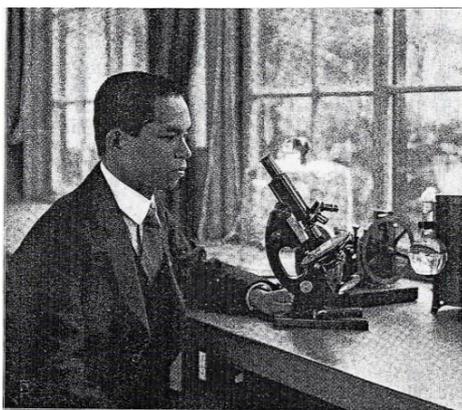


佐藤清明資料保存会会報

No.12

第74回全国植樹祭岡山 2024 特集



博物学者 佐藤清明 (1905-1998)

佐藤清明資料保存会
里庄町立図書館

2024.7.20

会報第12号 もくじ

1. あいさつ	佐藤清明資料保存会 名誉会長 生宗脩一	1
2. 第74国植樹祭記念式典に参加させていただきました	顧問 江田伸司	2
3. 第74回全国植樹祭記念 菊桜植樹 in 里庄		3
資料 「植樹祭における天皇皇后両陛下お手植えの樹種とお手蒔きの種子」		4
4. アーカイブス・佐藤清明執筆「菊桜あれこれ」①		5
①枯死を伝えられた名花「岡山にある菊桜」(植物手帖, 昭和51年4月10日)		
②順宮様の御紋章になった名花「岡山の菊櫻」		7
③随筆備中植物誌		10
5. アーカイブス「菊桜あれこれ」② 関連論文・記事・事項等一覧		12
6. 収録「里庄東小学校学校だより『里見っ子』」令和5年5月号		13
7. 収録「里庄町シルバー人材センター会報『シルバー里庄』」第21号		14
8. 里庄町歴史民俗資料館で「菊桜展」を開催しました。		15
9. 図書館事業・第3回せいめいさんの菊桜を「キーホルダー」に		16
10. 第1回せいめいを読む会を開催しました		
11. 「里庄のせいめいさん展 2024」		17
12. 編集後記		

表紙写真：第六高等学校理科教室助手時代の佐藤清明（20代）

あ い さ つ

令和6年4月28日、歴史民俗資料館前庭の菊桜を見上げると、気品ある花が枝一杯にあふれ、その満開の様に心が躍りました。この菊桜は育成保存会の皆様が毎日のようにお世話を下さったお陰の6年樹です。折よく佐藤清明ゆかりの菊桜看板を里庄町が設置、花の価値を引き上げて頂き感動です。

令和6年5月26日に「全国植樹祭・岡山2024」が開催されました。この記念事業にちなみ、町農林建設課が町内小中学校など8カ所に菊桜を記念植樹しました。また、4月28日と5月5日（日）に歴史民俗資料館にて「菊桜展」が開催されました。まさにタイミングよく山陽新聞社が菊桜に関する取材をされ、4月26日に掲載されました。この記事内容の反響が大きく、「菊桜」が幅広く多くの方から関心を頂き「菊桜展」に百数十名の参加・鑑賞を頂きました。マスメディアによる情報が人の心に響いたと感じた次第です。

次に佐藤清明資料保存会の会報は回を重ねて12号の発刊となりました。これまでの会報の中で記事内容を取り上げられた例を紹介します。『牧野富太郎の植物学』田中伸行著・NHK出版新書の参考文献として佐藤清明資料保存会・里庄町立図書館「佐藤清明資料保存会会報」No.3（2019）が掲載されています。この件の情報は岡本顧問から提供されました。著者の田中伸行氏は2023年4月よりNHK朝ドラ「らんまん」放映の植物監修者です。

こういったことから、私たちにとって、佐藤清明資料の研究を積み重ね、その結果の記録し情報を発信していくことが大変重要だと思います。

「清明を読む会」・「清明研究会」・「展示会」・「児童を対象の事業」・膨大な情報量を扱う「佐藤清明特設サイト」の管理運用・会報の発行等を支えて下さっている皆様に心より敬意を表しますとともに、会員皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年6月

佐藤清明資料保存会

名誉会長 生宗 脩一

The 74th National Tree Planting Festival in Okayama 2024

令和6年5月26日、第74回全国植樹祭が、ジップアリーナ岡山を主会場に開催されました。



お言葉を述べられる天皇陛下



キクザクラを植樹される皇后陛下



お手植えのキクザクラ

第74回全国植樹祭記念式典に参加させていただきました。

顧問 江田伸司

第74回全国植樹祭が、令和6年5月26日にジップアリーナ岡山を主会場として開催されました。「全国植樹祭は、国土緑化運動の中心的な行事として、昭和25年以来、天皇皇后両陛下の御臨席のもと、全国各地から緑化関係者等の参加を得て、両陛下によるお手植えや参加者による記念植樹等を通じて、国民の森林に対する愛情を培うことを目的に毎年開催されています」(出典：林野庁ホームページ)。

岡山県での開催は実に57年ぶり、2回目となります。里庄町からは加藤泰久町長をはじめ、佐藤清明資料保存会の生宗脩一副会長、佐藤健治理事、徳山容理事、佐藤美清顧問、私江田が参列しました。

記念植樹では、皇后雅子様が会場に用意されたプランターにキクザクラの苗をお手植えされました。この苗は佐藤清明生家のキクザクラより、樹木医であり(一財)日本さくらの会専門委員である國忠征美氏が丹精したものです。この苗は、國忠氏が再び育成され、後日県内へ移植される予定と聞いています。今後永く来場の方々を楽しませてくれることでしょうか。

両陛下がお手植えされる樹種のひとつに、皇室ならびに岡山池田家と縁があり、佐藤清明資料保存会ならびに菊桜育成保存会が長らく保護・育成、顕彰等に努めてきた佐藤清明縁のキクザクラが選ばれたことはたいへん喜ばしく、皆様のご努力の賜物と存じます。今後はさらにキクザクラに関心を寄せる人が増えることでしょうか。誠におめでとうございます。

(文と写真・江田伸司氏)



第74回全国植樹祭岡山2024(ジップアリーナ)

(岡山県広報紙「晴れの国おかやま」特別号から)

両陛下の岡山行幸啓日程

第1日(5月25日)

岡山県立岡山工業高校ご視察

国土緑化・育種運動ポスター原画コンクール

視察、緑化功労者と懇談

天皇陛下が池田厚子様ご訪問

第2日(5月26日)

第74回全国植樹祭岡山2024ご臨席

倉敷市真備地区にて復興状況ご視察

The 74th National Tree Planting Festival in Okayama 2024

第74回全国植樹祭記念 菊桜植樹 in 里庄

第74回全国植樹祭において、皇后雅子様が菊桜をお手植えになられることを記念して、町内8ヶ所に菊桜が植樹されました。小学校においては、創立150周年の年にあたっており、記念事業の一環として行われました。



①里庄東小学校



②里庄西小学校



③里庄西幼稚園



④里庄中学校



⑤里庄東幼稚園

町民集いの場に …



⑥つばきの丘運動公園



⑦東公民館



⑧天満神社

資料「植樹祭における天皇皇后両陛下お手植えの樹種とお手蒔きの種子」

岡山県植樹祭ホームページを参照しています。

天皇陛下お手植えの樹種



アカマツ（抵抗性：桃太郎松）

県の木として広く県民に親しまれています。建築材としての利用のほか、備前焼の燃料として利用されています。（かつて、町内で大原焼の焼成で使用）

第18回大会（昭和42年）で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹種です。

（昭和の中頃まで、町域の植生を中心に松茸狩りの風景は秋の風物詩でした。）



ヒノキ（少花粉）

県の林業を支える主要樹種で、県内には気候風土に適したヒノキが多く植えられています。

建築材などに利用され、生産量は全国トップクラスです。

第18回大会で皇后陛下がお手蒔きされた樹種です。



スギ（少花粉）

県の林業を支える主要樹種で、ヒノキの次に多く植えられています。

建築材やCLTの材料として利用されています。

皇后雅子様お手植えの樹種



クロガネモチ

地方名は「あくら」。岡山市内の道路の名称でも親しまれています。

特徴・5月から6月頃に淡紫色の小花を咲かせた後、赤い実を付けます。



アテツマンサク

阿哲郡（現・新見市）で発見され、命名された地域固有種です。

2月から3月頃に淡黄色で短冊のような花を咲かせます。

（大正14年(1925)、県内の植物研究者と牧野富太郎博士が阿哲郡黒髪山で発見命名）



キクザクラ … 里庄町内8カ所に植樹祭記念として菊桜が植樹されました。

昭和28年に昭和天皇が行幸啓の際、後樂園に植樹されました。

池田厚子さん（順宮厚子内親王）のお印で、4月下旬に淡紅色の多数の花弁を付ける「菊咲き」をします。（この度の記念植樹を含め、町内に15株）

天皇陛下お手蒔きの種子 ヒノキ（少花粉）・スギ（少花粉）

将来にわたり林業を支える為、岡山県が人工林の伐採に併せて、跡地に、花粉症対策として少花粉苗木による植替えを促進している樹木2種をお手植えされました。

皇后雅子様お手蒔きの種子 マヤマザクラ・イロハモミジ

県内に広く自生し、春の山野に花で、また秋の紅葉で自然景観に彩りを添え四季折々の景観を形成している樹木2種をお手植えされました。（町内の山地にも自生しています。）

4. アーカイブス・佐藤清明執筆「菊桜あれこれ」① … 「佐藤清明資料」から

① 枯死を伝えられた名花「岡山にある菊桜」

枯死を伝えられた名花

岡山にある菊桜

佐藤清明

(岡山大学講師)



菊桜は八重桜の一種だが、きわめて多くの美点をもっていて、数ある桜の品種のなかでも異色のものに属する。この桜が池田家の備前岡山に伝わり、順宮厚子内親王の御紋章として選ばれ、その順宮様が菊桜の里、備前岡山の池田家に降嫁されたことはまことに奇縁と申しあげるほかはない。

菊桜について概要を申しあげると、先ず第一に花期が甚だ長いことである。桜はたいはいばつと咲いてばつと深く散るものだが、菊桜は一ヵ月近くも花を維持し、毎年四月上旬から濃い紅の蕾をほころばせ、五月十日を過ぎてもまだ芳郁と香雲をただよわせており、その悠々たる花影は、あわただしく散りゆく群桜と比べて格段の相違がある。

第二に花卉の数が多く、試みに一花をとって数えてみると百枚くらいまでは容易に数え

られ、もっとも多いのは三百枚を超えるものがある。植物中、キクとかハスとは花卉の多いのを誇っているが、それでも三百というのは稀である。八重桜の中の逸品といわれる普賢象でせいぜい三十五枚、岡山県下にある宗堂桜は多いようでも六十枚くらいしかない。菊桜は花の直径三センチばかりで、あまり大きい方ではないのに、このように充実しているため花形は球状、その学名のスフェランタは「球花」を意味している。

第三にこの桜は散りぎわがみごとで、一ヵ月の花期を終えると花枝全体がさつとはなれて落ち、他の桜のように一片ずつひらひらと散るいわゆる落花狼藉は見られない。そのころ庭に下りたってみると、可憐な薬玉のような球形の花が地に満ち、一陣の風にのって静かに遊ぶがごとく回るの雅趣がある。

第四に、菊桜は花中に多数の雄蕊を残して

いる。たいていの八重咲きの花は原種はみな一重である。それが雄蕊の花弁化によって八重咲きになるもので、花弁の多いものには雄蕊が全部花弁になってしまつて、花の中にも雄蕊は一つも残らないものがある。

ところが菊桜は中央部になお少なからぬ雄蕊を残していて、これが黄色く花の中央を彩っているため、遠くからみるとあたかもキクの花のように見える。三百にもおよぶ弁化を遂げて、そのうえにまだゆとりをみせていることはおどろくばかりである。

第五に菊桜は灌木状であつて、巨大に生長するのをみずから誠めている。樹齢数百年に及んでも尊大におごることがない。地味に四方に小枝を出し、乾地でも陽地でも陰地でもどこでも一応は生育し、開花するようだ。

桜は古来日本の名木として数々の品種が育成されたが、菊桜に至つて極致に達したとも言い得る。思うにこの桜は、菊の御紋章を描きつつ宮中に育成せられたいわゆる御所桜の逸品であつたものが、故あつて池田家の備前に伝わっていた。

中世御所は式微し、由緒ある桜も顧られぬうちに菊桜も遂に消失した。昭和六年、桜の研究家故三好学博士は備前岡山に伝わる菊桜

を得て宮中に献上した。この原樹は当時六高の教授であった大渡忠太郎氏が見つけ、**皇** 龜であった三好博士に送って菊桜であることを教えられたものであった。

数々の美点をもったこの菊桜は、生物学者天皇の御気に召し、昭和六年三月七日誕生せられた順宮の御紋章（おしるし）に選定され以来四十年、皇居花蔭亭の前に、毎年美しい花を咲かせてきた。

昭和二十七年、日米の講和がすんで独立第一年を迎えた日、天皇陛下は、

冬すぎて菊桜さく春なれど

母の姿の見えぬかなし

昭和28年、両陛下園内へお成りの際後楽園にてお手植えなされた菊桜。右は天皇、左は皇后がお手植えの菊桜。かがんでいるのが筆者。



と詠まれ、貞明皇后を懐きました。

大渡教授が苦心育成した菊桜は六高の植物園に植えられ、その原樹は、永く六高（旧第六高等学校）の校庭、武道場の横にあった。高雅なその花の気品は六陵健児の胸に迫り、祝福せられた武道部は、つねに京都戦に宿敵四高とまみえて栄冠を得ていたが、昭和二十年六月の米軍機の空襲によって武道場とともにこの菊桜も烏有に帰した。

私は大正十二年、六高に職を奉じ、戦前まで生物学教室にいた。植物園を回る毎にこの菊桜に接し、戦雲濃くなるとともに一枝の疎開を思いたち、岡山県農業試験場の大崎技師の忠言によって、同県里庄町の郷里に接木したのが、現在四メートルに生長している。

昭和二十七年四月十四日、順宮様が岡山市上伊福別所の新居を御覧なされるため来岡された際、天皇陛下は岡山菊桜の原樹に御興味をもたれ、徳川侍従が旨を体して探されたが、その原樹は私の許に継承した形になっていたので翌十五日、私は一枝を携えて岡山菊桜建在のお話を申しあげ、岡山特産の宗室桜（シロキク）に差し出した。三の象徴である桜と、皇室の表徴である菊とその

二つが一緒になった菊桜は、数々の特徴をそなえ、また奇跡を示した。私はこの菊桜の原樹を「岡山菊桜」と呼んで、永く顕彰してゆきたいと思う。

この菊桜の苗は、その後天皇、皇后両陛下が岡山の後楽園へお手植になり、今も園内の名物になっている。両陛下御揃いで二本の苗をお手植えなされたのはこれが最初でした。

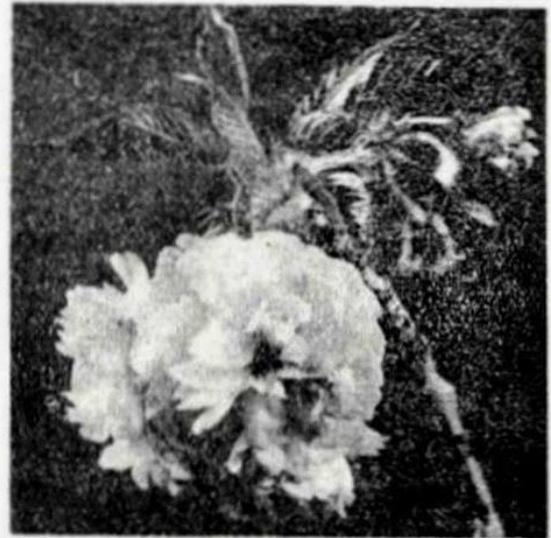
石川県にあるキクザクラ

「かつて岡山県に咲き誇った名桜はすでにいまは枯死した」と昭和四十年四月三日の読売新聞、「キクザクラの由来」で、金沢大学の木村久吉氏は書かれたが、その後継ぎはいまも健在であった。

木村氏はこの記事で、金沢には、ケンロクエンキクザクラのほかヒヨドリザクラ、フクザクラ、ナジマザクラというキクザクラ型のザクラがあり、これはオオシマザクラ系のものである。このうち、ヒヨドリザクラの原木は絶えてしまった。また能登には、三好学博士のザクラ調査にももれたと思われる名品、ケタノシロキクザクラ、アギシキクザクラ、ヒウチダニキクザクラなどがそれで、大井次三郎、竹中要両博士の現地調査によると、それらはいずれも品種的には純粋のヤマザクラ系のもので、キクザクラとしては新種だといわれている。（真魚）

雑誌植物年報 (昭和二十一年四月一日) 発行

② 順宮様の御紋章になった名花「岡山の菊桜」



寫眞はキクザクラ

順宮様の御紋章になった

名花「岡山の菊桜」

佐藤清明

菊桜は八重桜の一種であるが、極めて珍しい幾多の美点を有していて、数ある桜の品種中でも実に異色のものに属するこの桜が池田家の備前岡山に傳わり、そして順宮様の御紋章になつており、その順宮様が今回また菊桜の里、備前岡山の池田家に御嫁入りになることは誠にたゞ奇縁と申し上げる他は無い。よりにてこゝに菊桜について以下概要を記述してみたい。

菊桜は先ず第一に花期の甚だ長い櫻で

ある。櫻といえは大抵、一時にバツと咲いて一時にバツと深く散つてしまうものであるが、菊桜は実に一ヶ月近くも花を維持し、毎年四月上旬から濃い紅の蕾をほころばせ初めて五月十日過ぎてまだ芳郁と香雲をたゞよわせており、その悠々たる花影はあわたゞしく散り行く群櫻と比べて格段の相違がある。

第二に花瓣の数が多く、試みに一花を採つて花瓣を数えて見ると百枚位は容易に数えられ、最も多いのは一花の花瓣が

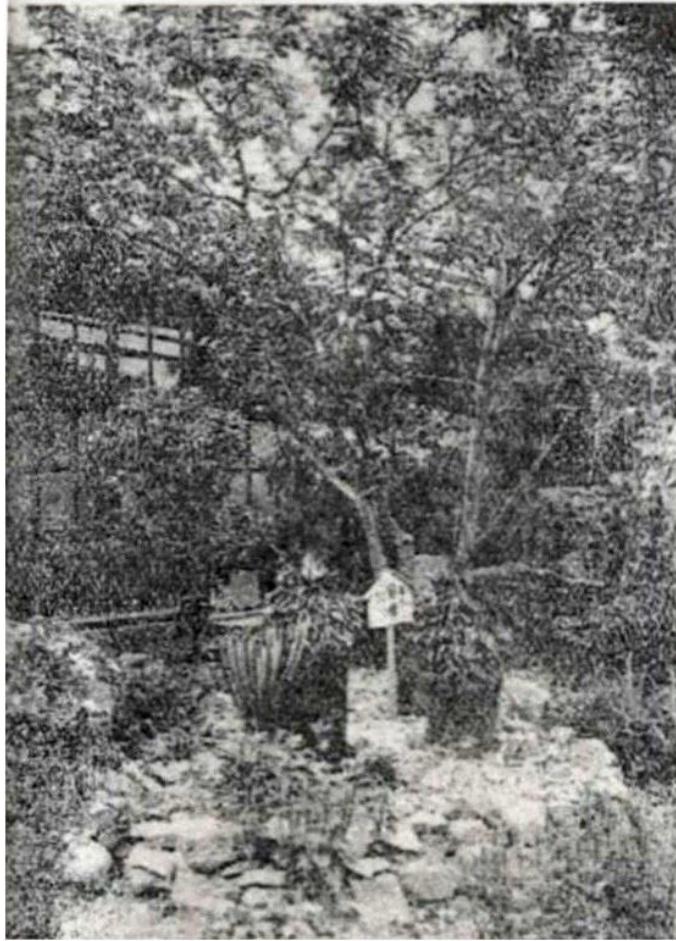
実に三百枚を超えるものがある。植物界中で菊とか蓮とかは花瓣の多いのを誇つておるが、それでも三百などというのは稀である。八重桜の中の逸品と稱する普賢象で精々三十五枚、岡山縣下にある宗堂櫻は花瓣が多いようでも六十枚位しか無い。菊桜は花の直径三センチ許で餘り大きい方では無いのかように充実しておるために花形は球形を呈し、学名スフエランタは球花を意味しておる。

第三にこの櫻は散り際が大變美事で、

一ヶ月の花期を終えると花枝全体がザツと離れ落ちて、他の櫻のように一片ずつヒラ／＼と散る所謂落花狼藉は全く見られない。その頃に庭に下り立つてみるとたゞ可憐な薬玉のような球形の花が地に満ち、一陣の風に乗つて靜かに遊ぶが如く廻る風情はまた雅趣あるものである。

第四に菊櫻は花中なお多数の雄蕊を残しておる。大ていの八重咲の花は原種は皆一重で、それが雄蕊が花瓣に変化した

ために花瓣の数が増加するのであつて、そのために花瓣の多いものは雄蕊が全部瓣花し盡し、花中にはもう雄蕊は一物も残つていない。ところが菊櫻に於ては中央部には尙少なからぬ雄蕊を残して、これが黄色で花の中央を彩つてゐるため遠くから見るとあたかも菊の中の黄色のシベの如くに見ゆる。三百にも及ぶ瓣花を遂けてその上に未だ多くの餘裕を見せておることはたゞ驚くの他は無い。



寫眞は里庄町佐藤清明氏宅のキクザクラ

第五に菊櫻はどこまでも灌木状で、巨大に肥木するのをみすから戒めておる。樹齡數百年を経ても別に尊大におごらないで、地味に四方に小枝を出し、乾地でも、陽地でも、陰地でも、ど

こでも一應は生育し開花するようである

櫻は古來日本の名木として數々の品種が育成されたけれど菊櫻に至つて極致に達したとも言ひ得る。思うにこの櫻は菊の御紋章を描きつゝ、宮中に育成せられた所謂御所櫻の逸品であつたものが、故あつて池田家の備前に傳わつていた。中世御所は式徴し、宮中の櫻もこれに隨つて裏徴し菊櫻は遂に消失した。大正年間に入つて櫻の研究家であつた故三好半博士は備前岡山に傳わる菊櫻を得て後に宮中に献上した。この原樹は當時の六高教授大渡忠太郎氏が苦心育成したものであつた。

順宮様の御降誕は昭和六年で、丁度岡山から菊櫻が宮中へおさまつた時であつたと聞いておる。數々の美点をもつたこの櫻は生物学者天皇の御氣に召し、たちまち順宮の御紋章（おしるし）に選定遊ばされた。爾來二十年、皇居花蔭亭の前に菊櫻は順宮様の御成長と共にスク／＼

と育ち去る四月二十八日、日本の獨立を
歌われた天皇陛下の御歌にも

冬すぎて菊櫻さく春になれど
母の姿をえ見ぬかなしさ。

と拜して貞明皇后を懐かしました。

大渡教授が苦心育成した菊櫻の原樹は
永く六高の校庭、武道場の横にあつて高
雅な花の氣品は六陵健兒の胸に迫り、か

くて祝福せられた武道部は常に京都戦に
宿敵四高と見えて榮冠を得ていたが、昭
和二十年六月の空襲に武道場と共に櫻も
また烏有に歸した。

私は大正十二年六高に職を奉じ戦前ま
で生物学教室に居た。植物園を廻る毎に
菊櫻に接し、當時その由緒を傳承してい
たため、戦雲濃くなると共に一枝の疎開

新婚賀

杉 鮫 太郎

白妙に莊嚴ませば愛しきかなや大さ父君の胸門きくご
とし

齊ひつつ妹背のちぎり秋晴るるこの空の下に立たすみ
二人

よき男子よき姫君とこの世なるものとしもなしともに
立たせば

愛けやしわが姫みこのたくひよくたくひ行きませ吾は
祈るに

この国に光のごとく嫁ぎきます清若の姫みこやあなさ
やけ

を思い出し、岡山縣農
事試験場の大崎技師の
忠言によつて浅口郡里
庄町の郷里に接木をし
たのが現在二間餘に成
長しておる。

本年四月十四日順宮
様が上伊福別所の新居
を御覽になるため來岡
された節に、天皇陛下
は岡山菊櫻の原樹に御
興味を持たれ、徳川侍
従が旨を休して探され
たが右のように原樹は
私の處に繼承した形に

赤磐孵卵場

土井原 薫

赤磐郡高陽村立川
電話瀬戸二二二番

なつていたので十五日私は一枝を携えて
岡山菊櫻の健在をお話し申し上げ、岡山
特産の宗堂櫻と共に差し上げた。
国の象徴であるサクラと皇室の表徴で
あるキクと、その二つが一緒になつたキ
クザクラはかような数々の特徴を具え、
また奇蹟を示した。私はこの菊櫻の原樹
を岡山菊櫻と呼んで永く保存顯彰したい
と思う。

(筆者はノートルダム清心大學教授)

随筆備中植物誌

佐藤 清明

(六) 菅川の菊桜

本すぎで菊桜とく春になれど

母の姿をえ見ぬかなしと

これは昭和廿七年四月の御撰で貞明皇后を偲ばせられたものである。この菊桜の原樹は岡山市国富の旧六高の換庭にあつたが空襲のために焼失して、奇しき因縁により今はこの二代目が備中里庄の実は私の家に一株ある。よりにて後に手前味憎ながらこの因縁話を聞いて頂こう。

その前に先ず菊桜の大要を記載してみれば、第一にこの八重桜は花期が甚だ長い。桜といえは大抵、一時にパツと咲いてまた一時にパツと潔く散ってしまうので名高いが、菊桜は実に一ヶ月近くも花を維持しており、毎年四月上旬から濃い紅の蕾をほころばせ初めて、五月十日すぎにまだ芳郁と香をただよわせており、その悠々たる花影はあわただしく散り行く群桜と比べて格段の相違がある。第二に花弁の数が多くて試みに一花を採って数えてみると百枚位は容易に数えられ、最も多いのは一花の花弁が三百をこえる。花全体の直径僅か三センチ許であるのにかように充満しておるから花形はために球状を呈しておる。

第三にこの桜は散り際に大変兎草で、一ヶ月の花期を終ると花枝全体がサツと離れおちて、他の桜のようにヒラヒラと散る所謂落花狼藉はちつとみえられぬ。その頃に庭に下り立ってみるとたゞ可憐な葉玉のような球形の花が一瞬の風にのって静かに遊ぶが如く廻る風情はまた雅緻がある。第四に菊桜は花中なお多数の雄蕊を残しておる。大抵の八重咲は雄蕊が弁化してしまうものが多いが菊桜は数百の花弁となってまだ且つ多くの余裕を見せておるのはたゞ驚くの外はない。第五に菊桜はどこ遠も灌木状で、巨大に肥大するのを戒めておるがごとく、尊大におこるといふ風は見えぬ。地味に、四方に小枝を出し、乾地でも陽地でも、どこでも一応は生育し開花するようである。

桜は古来日本の名木として数々の品種が育成されたりと菊桜に至って極致に達したとも考えられる。思うにこの桜は所謂御所桜中の逸品で宮中に育成されたものが、故あって池田家の備前に伝つていた。中世御所は式微し、宮中の桜の同じ運命を辿つて菊桜は宮中から消失したものであろう。大正年間には桜の研究家であつた故三好學博士は備前岡山に伝わる菊桜を得て後に宮

中に献上した。この原樹は当時の六高教授大渡忠太郎氏が苗木屋から偶然見つけて苦心育成したものであった。

順宮様の御降誕は昭和六年で、丁度岡山から菊桜が宮中へおこまつた時であつたと聞いておる。数々の美点をもつたこの桜は生物学者天皇のお氣に召し、たちまち順宮の御紋章にお選びになつた。亦未二十年、皇居北陸亭の前に三株の菊桜は順宮様の御成長と共にスクスクと育つた。前に掲げた御題は即ちこれをお詠みになつたものである。

大渡教授が苦心育成した原樹は永く六高の校庭の武道場の横にあつて高雅な花の氣品は六陸艇児の胸に迫り、かくて祝福された武道部は常に東都戦に宿敵四高と見え、栄冠を擧げていたが、昭和二十年六月の空襲に武道場と共に桜もまた無存に歸した。

私は大正十二年、六高に職を奉じ、戦前まで生物学教室に居た。植物園を廻る毎に菊桜に接し、当時その由緒を伝承していたため、戦災激しくなると共に一枝の疎雨を思い立ち、岡山県農事試験場の大崎技師の忠告によって浅口郡聖庄の郷里に接木をしたのが現在六メートル余に成長しておる。

昭和廿七年四月十四日順宮様が上押福の新店に成られたとき、天皇陛下は岡山菊桜の原樹に御興味を持たれ、徳川侍従が旨を休して撮られたが右のよりに原樹は私が継承した形になつていたので、十五日私は一枝を携えて岡山菊桜の健在をお話し申上げ、岡山特産の宗堂の桜と共に差し上げた。その後私は内山功三氏に委嘱して菊桜の挿木を作り、その苗は昭和廿八年四月廿九日の嘉辰に池田邸へ植樹した。

また、昭和廿八年十月廿七日天皇陛下が鎌倉園へ御宿泊の際に、私は苗木三本を鶴鳴館に持参し、天皇皇后両陛下お揃いで二本を御手植になつた。一本の予備品は園内花夾の滝附近に植えたが、三本とも隆々として育ち本年は皆蕾をつけるに至つた。

ここに重ねて奇縁であるのは両陛下菊桜御手植の十月廿七日、月日を全く同じうして、この桜の育成者大渡教授は東京に於て八十三才を一期に溘然と長逝されたのである。

園の象徴であるサクラと皇室の叢樹であるキウヒ、その二つが一緒になつたキクサクラはかような数々の特徴を具え、また数々の奇蹟を示した。

園みに菊桜の学名は *Prunus serrulata* LINDLEY forma *sphaerantha* MIYOSHI という。

(岡山市清心女子大学教授)

5. アーカイブス「キクザクラあれこれ」② … 関連論文・記事・事項等一覧

佐藤清明資料保存会会報

No. 0 (発刊準備号) 2018. 6. 24

六高菊桜について 佐藤公康先生稿
清明さんが愛した六高菊桜とエヒメアヤメ

No. 1 (創刊号) 2018. 10. 14

キクザクラ基金の開設とキクザクラ樹勢回復処置の実施

No. 5 2020. 7. 4

巻頭論考「佐藤清明生家のキクザクラについて 生宗脩一
資料紹介・生宗脩一著「岡山県下のキクザクラについて」
「キクザクラ植樹の記録」

No. 7 2021. 3. 20

特別展「池田厚子様と佐藤清明ゆかりの菊桜展」

No. 8 2022. 3. 20

佐藤清明ゆかりの菊桜育成記録 佐藤健治

No. 9 2022. 11. 19

三徳園の「菊桜」植樹について 稲田多佳子

No. 10 2023. 4. 16

福武教育文化振興財団助成事業

「岡山大学構内‘菊桜’の新しい看板設置と‘菊桜’について 徳山容
福武教育文化振興財団助成事業

児童生徒対象冊子「佐藤清明ゆかりの菊桜」の概要(抜粋)

山陽新聞記事「岡山大学構内‘菊桜’の新しい看板設置と‘菊桜’について」

No. 11 2023. 11. 30

図書館事業「佐藤清明さんの菊桜を『キーホルダー』に」

佐藤清明資料保存会会報別冊① 2020. 2. 15

第5回清明を読む会テキスト「岡山県下のキクザクラについて」 生宗脩一

リーフレット類

「博物学者 佐藤清明」

「きくざくら」

児童生徒対象冊子

「佐藤清明ゆかりの菊桜」

出版物

岡山文庫

『博物学者佐藤清明の世界—附録「現行全国妖怪辞典」—』

佐藤清明資料保存会編 日本文教出版株式会社 2021年刊

出前授業・講演「菊桜と佐藤清明」

岡山県生涯学習大学連携講座「県西部の文化」 2023. 11. 3. 理事 佐藤健治氏

里庄東小学校 2023. 5. 10, 11 理事 副会長 生宗脩一氏

里庄東小学校 2024. 5. 17 理事 佐藤健治氏

里庄西小学校 2024. 7. 10 理事 高橋達雄氏

第126回里庄歴史勉強会 2024. 4. 28 理事 佐藤健治氏



6. 収録「里庄東小学校学校だより『里見っ子』」令和5年5月号



学校教育目標 心豊かでたくましい 里見っ子の育成
めざす児童像 よく学ぶ子 くじけない子 おもいやる子

1学期のテーマ
笑顔(えがお)



1年生を迎える会で笑顔一杯

4月19日(水)に新入生51名の入学を全校でお祝いする児童会主催の「1年生を迎える会」が体育館で行われました。各学年ごとにアイデア一杯の出し物をしたり、お祝いのメダルをプレゼントしたりとみんなで楽しいひとときを過ごすことが出来ました。一人一人名前を呼ばれた1年生は、**笑顔一杯元気よく返事**をすることができ、大変頼もしく感じました。最後に登場したお祝いのくす玉は、見事に開き大成功!きっと子供たちの良い思い出となったに違いありません。



理化学研究所からノート贈呈

超伝導リングサイクロトロン ギネス世界記録の登録を記念して制作された学習ノートの贈呈式が、埼玉県にある理化学研究所仁科加速器科学研究センター長の櫻井博儀先生方をお迎えして、4月19日(水)に行われました。贈呈式後、櫻井センター長さんによるサイクロトロンや仁科芳雄博士に関する記念のレクチャーが行われ、本校の5、6年児童が興味津々で参加し、レクチャー後の質問コーナーでは、**先生方を驚かせるほどの核心の質問**に会場は盛り上がりました!!



「菊桜(キクザクラ)出前授業」

里庄町里見出身の博物学者 佐藤清明博士ゆかりの「菊桜(キクザクラ)」について、本校の卒業生で菊桜育成保存会兼佐藤清明資料保存会の生宗脩一さんをお迎えして、4年生理科の出前授業が5月10日(水)、11日(木)に行われ、児童たちは菊桜や佐藤清明博士について熱心に学習することができました。本校の校庭には八重桜がありますが、菊桜は花びらが100~300枚もあることや、佐藤清明博士の偉業などについて学び、眼を輝かせていました。**次の博士誕生かもです!**

『全力・協力 輝けさとみっ子!』

5月26日(金)の午前中、薄曇りの絶好の天気恵まれ、令和5年度運動会を盛大に開催することができました。新型コロナウイルスによる制限が無くなり、4年ぶりに保護者や地域の方々、そして来賓の皆様をお迎えしての大変賑やかな運動会を実施することができたことを有り難く思うと同時に、当日終始児童の活躍を心からご声援くださった皆様の真心に対し、心よりお礼申し上げます。当日は、3・4年生、1・2年生、5・6年生の3部構成で行われ、ブロックごとにラジオ体操、校歌、応援団、ダンス、組み体操やリレーなどに本気で取り組み、まさに『全力・協力 輝くさとみっ子』の姿でした。



シルバー里庄

第21号

シルバー人材センター基本理念

自主・自立、共働・共助



「里庄町歴史民俗資料館前の菊桜」

郷土の偉人・博物学者、佐藤清明先生ゆかりの「菊桜」が「菊桜育成保存会」の人達の尽力により大きく育ち、綺麗な花が咲きました。

今年は4月23日に菊桜展が開催され、大勢の方々が鑑賞されました。歴史民俗資料館の開館日は毎月、第1・第3日曜日、9:00～16:00 無料です。里庄町シルバー人材センターの会員がご来館をお待ちしています。

「見事に咲いた菊桜」

菊桜は一つの花に花びらが100～300枚もつき、菊の花のように咲くことからこの名で呼ばれています。

花の色は濃い紅色～鮮やかな赤～淡いピンクと変化していくのが特徴です。

編集発行 公益社団法人 **里庄町シルバー人材センター**

〒719-0302 岡山県浅口郡里庄町大字新庄 2405 番地

☎(0865) 64-5901

ホームページ

<https://webc.sjc.ne.jp/satosho/>

里庄町シルバー

検索



※ 菊桜の開花は、今や里庄の風物詩の一コマになりつつあります。(掲載承認済み)

8. 里庄町歴史民俗資料館で「菊桜展」を開催しました。



日時：令和6年4月28日(日)、5月5日(日) 9:00～16:00
 場所：里庄町歴史民俗資料館 玄関ホール・資料館の前庭
 内容：菊桜の写真・令和5年度の菊桜植樹風景・前庭の菊桜
 企画：町教育委員会・町文化財保護委員会・佐藤清明資料保存会



菊桜展展示の一部（歴史民俗資料館玄関ホール）

2日間の開館でしたが、満開の菊桜に迎えられ150名を超える入館がありました。また、期間中のある日、資料館前ひろば（中央公園）に、満開のキクザクラのもとで花を愛で会食を楽しむ地元住民グループの皆さん（男女12名）の姿がありました。



2019年に植樹して4年、菊桜保存育成会の会員はじめ多くの方々の手入れと見守りに答えて、樹高5mを超えるまでになり見事な花を咲かせてくれました。



2019. 12. 3 植樹式



2020. 8. 31



2022. 4. 11

9. 図書館事業 せいめいさんの菊桜を「キーホルダー」に

今回で3回目となる小学校児童対象の事業で、昨年度の抽選漏れの児童を加えて20名。2グループに分けて実施。図書館職員2名(司書)と3回目となるボランティアメンバーに、佐藤清明資料保存会の新会員も加わり12名で対応した。



10. 第1回清明を読む会を開催しました 2024.6.15 総会后

演題：「備南の隠れたる篤学者植木屋渡辺豊治と佐藤清明先生」
講師：遠藤堯之氏



渡辺豊治は、旧浅口郡金光町の人で佐藤清明や牧野富太郎との出会いと交流がありました。

佐藤清明が『浅口の天然記念物』（1951年調査佐藤清明著）において、渡辺豊治の業績を詳細に記したことをはじめ、盛りだくさんの情報をいただきました。

『浅口郡植物誌』（1932年清明著）にも渡辺豊治のことが詳しく記されています。

（原本：清明資料として、里庄町立図書館所蔵。）



1 1.「里庄のせいめいさん展 2024」 2024. 7. 10～8. 30 里庄町立図書館



文化財・天然記念物：「せいめいさんのアルバム」から町内と笠岡の今昔



左：植物分科会（虚空蔵公園の植生「写真と腊葉標本」）
 中：年譜・教育分科会（昨年発表の年譜の改訂ほか）
 右：民俗学分科会（岡山のメダカ方言・方言クイズ等）

<編集後記>

第74回全国植樹祭2024が岡山で開催され、皇后雅子さまが「菊桜」の苗木をお手植えになられたことで、佐藤清明ゆかりの菊桜が多くの方々に知られることとなり、私たちにとっても記念すべき年になりました。会報No.12では、植樹祭関連記事と、佐藤清明が、菊桜に関わった当時に書き残した資料を中心に集録いたしました。

会報No.0（発刊準備号）に、「六高菊桜について」（ご子息の佐藤公康氏稿）と、佐藤清明執筆の囲み記事「六高菊桜」を収録しています。囲み記事では、大正の末の頃、六高教授大渡忠太郎が備前岡山城下「蓮昌寺」の植木市で苗木として売られていた菊桜を求め、桜の権威三好博士（東京帝大）に送り、絶えたとされていた京都御所の名花（園芸種）と鑑定され、同博士から皇室に献上され、順宮内親王のお印となったという経緯が記されています。この機に再読頂ければ幸いです。

おわりに、本号掲載の写真をご提供下さった、町役場と会員の皆様に感謝申し上げます。

（会報担当・佐藤泰徳）

佐藤清明顕彰特設サイト



佐藤清明資料保存会会報 No.12

発行日 令和6年7月20日
発行者 佐藤清明資料保存会・里庄町立図書館
会長 加藤泰久(里庄町長) 館長 高田正信
住 所 719-0301 岡山県浅口郡里庄町里見 2621
電 話 0865-64-6016

ホームページ : <http://www.slnet.town.satosho.okayama.jp>
Eメール : slnet@slnet.town.satosho.okayama.jp